

第2回パンダ杯全国高等学校空手道形競技錬成大会

申し合わせ事項および連絡事項

【演武形について】

高校男女団体形 3つ必要

- 第1R … 第1または第2指定形
- 第2R(準決勝)… 得意形でこれまでに演武していない形
- メダルマッチ … 得意形でこれまでに演武していない形(分解は行わない)

高校男子個人形 4つ必要

- 第1R … 第1または第2指定形
- 第2R … 第1または第2指定形で第1Rと同じ形でも可
- 第3R … 得意形でこれまでに演武していない形
- 準決勝 … 得意形でこれまでに演武していない形
- メダルマッチ … 得意形でこれまでに演武していない形

高校女子個人形 4つ必要

- 第1R … 第1または第2指定形
- 第2R … 得意形でこれまでに演武していない形
- 準決勝 … 得意形でこれまでに演武していない形
- メダルマッチ … 得意形でこれまでに演武していない形

育成男子個人形 2つ必要

- 第1R … 第1または第2指定形
- メダルマッチ … 得意形でこれまでに演武していない形

育成女子個人形 2つ必要

- 第1R … 第1または第2指定形
- 準決勝 … 第1または第2指定形で第1Rと同じ形でも可
- メダルマッチ … 得意形でこれまでに演武していない形

【同点の場合】

- ・下記のステップ1～5を順に比較して勝者を決めます。
 - 〈ステップ1〉 技術面点の比較 70%を掛ける前の得点で、最も高い方が勝者となる
 - 〈ステップ2〉 技術面点の比較 除外されていない最低点の最も高い方が勝者となる
 - 〈ステップ3〉 技術面点の比較 除外されていない最高点の最も高い方が勝者となる
 - 〈ステップ4〉 競技面点の比較 除外されていない最低点の最も高い方が勝者となる
 - 〈ステップ5〉 競技面点の比較 除外されていない最高点の最も高い方が勝者となる
- ステップ5まで行っても同点の場合は再演武を行います。

- ・再演武は上位ラウンド進出にかかわる場合とメダルマッチで同点の場合に実施します。
- ・再演武の形は当該ラウンドで使っていない形とし、以前に本戦で使った形でも構いません。再演武に使った形で本戦に使われていない形はそれ以降でも使えるものとします。

【運用】

- ・高校生の部では、第2ラウンド以降(メダルマッチは除く)の演武順はパソコンでシャッフルします。
- ・育成の部では、シャッフルせず、番号順に演武します
- ・招集は各タタミで行ないます。エントリーシート(受付時に配付)に必要事項を記入し、シートを持って自分の試合のタタミに速やかに集合し、演武順に整列してください。

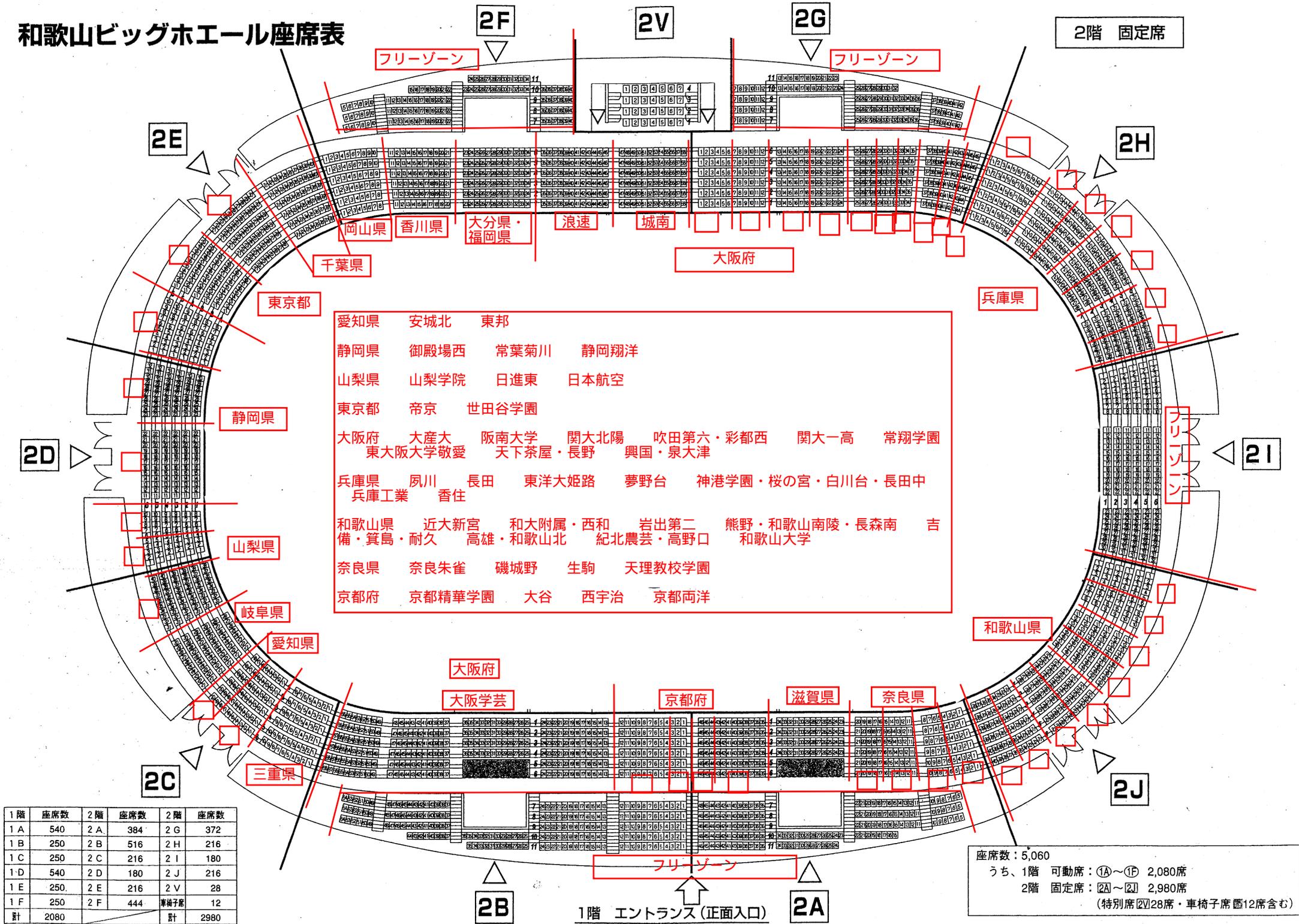
【監督】

- ・各校1名のみとします。必ずIDカードを首からかけておいてください。
- ・各タタミに監督席はつくります。
- ・服装はトラックスーツまたは空手道着とします。ネーム等の規定はありません。

【表彰】

- ・各種目5位(3位決定戦で負けた選手)まで表彰します。

和歌山ビッグホール座席表



1階	座席数	2階	座席数	2階	座席数
1 A	540	2 A	384	2 G	372
1 B	250	2 B	516	2 H	216
1 C	250	2 C	216	2 I	180
1 D	540	2 D	180	2 J	216
1 E	250	2 E	216	2 V	28
1 F	250	2 F	444	車椅子席	12
計	2080			計	2980

座席数：5,060
 うち、1階 可動席：①A～①F 2,080席
 2階 固定席：②A～②J 2,980席
 (特別席②V28席・車椅子席②12席含む)